改訂の方向性(案)

モニター調査結果や現地調査結果、ならびに第1回・第2回検討会での御意見等を踏まえ、現段階における取りまとめの方向性を以下整理した。その上で、今回の改訂案(資料3)を作成している。

1. 食文化ナビについて

【調査結果】

- ●食文化ナビの有用性
 - ・「地域の課題発見に役立つ」、「議 論の活性化に役立つ」が約7割。 「汎用性がある」半数弱



【改訂の方向性】

- ●食文化ナビの有用性
- ・現場での有用性が確認されたため、 改訂は、見易さ・使い易さに重点を 置いたものとする

●活用したい時期

・「事業を始める前」が約6割。その 後も、各段階で使いたいとの声も



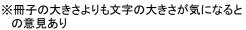
●活用したい時期

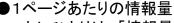
- ・汎用性を保ちつつも、メインユーザーを「事業取組の初期段階」の地域を想定し、表現等を見直す
- ・取組が進んでいる地域が使う際の 活用イメージも「ダイジェスト版の 使い方」に盛り込む

2. ユーザビリティ(使用感)

【調査結果】

- ●冊子(ダイジェスト版)のサイズ
- ・サイズは「ちょうどよい」が半数、 「もう少し大きい方がよい」も4割と 少なくない





・4人にひとりは、「情報量を減らして 見やすく」と回答。また文字が小さ くて読みづらいとの意見も



【改訂の方向性】

- ●冊子のサイズ
 - ・現場での使い易さも踏まえ、現状 のサイズを維持



●1ページあたりの情報量

- 特にワークシートを中心に、1ページあたりの情報量を減らし、読み やすくする
- ・ページ数を増やす方向
- ・文字サイズ等も要検討

●デザインについて

・「8ページ以降、急に事務的デザインになり活用意欲が減退」「写真などの絵があるとイメージしやすい」 との意見も



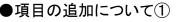
●デザインについて

- 活用者を引きつけるナビとすべく、 デザインを検討
- その際、ダイジェスト版と本体の統一感も意識

3. 全体構成および「導入~解説部分(P1~8)」について

【調査結果】

- ●構成について
- ・「現状のままでよい」が8割近くと、 おおむね現在の構成が評価されて



- 食文化ナビの利用目的やダイジェ スト版の使い方がわかりにくいとの 声が、現地調査・モニター調査を通 じて聞かれる
- ●項目の追加について②
- 「最後に地域の事例集があれば参 考にしやすい」「他事例を自分の地 域に置き換えることでアイデアが生 まれることもある」との声も
- ・現地調査でも、取組の横展開を視 野に入れた情報が求められた

- ●視点0~5の見出しについて
- •「視点3」を筆頭に「視点1」「視点 2」は、見出しから内容をイメージし にくいとの意見が少なくない
- ▶導入~解説のわかりやすさ "わかりにくい表現や用語"として指摘 が上がったもの
 - ・クリエイティブデザイン
 - ・イーティングデザイン
 - ・ステークホルダー
 - ・しつらい
 - 次世代の舌づくり
 - 食のプロセス

【改訂の方向性】



- ●構成について
 - 基本は現状の構成を維持



- ●項目の追加について①
 - ダイジェスト版の使い方や各 チェック項目の解説、ナビを使う 意義などを記載(資料1参照)



- ●項目の追加について②
 - ■「ナビ本体(book)」のヒントや事 例の充実
 - •「ダイジェスト版」から本体への レファレンス機能の強化



- ●視点0~5の見出しについて
 - ・イーティングデザイン、クリエイ ティブデザイン、等の見出しにつ いては検討課題
 - ⇒サブタイトルの追加または代替 案をご提案



- ●導入~解説のわかりやすさ
 - わかりにくいとされた用語は、分 かり易い言葉に置き換える方向 でご提案



4. ワークシート(P9~P15)について

【調査結果】

- ●視点O~5以外の視点の必要性
- ・モニター調査より数か所から意見 があったものの、「現行の視点に納 まるもの」「項目の追加・修正が適 切なもの」の範囲内



【改訂の方向性】

- ●新たな視点の追加について
 - ・基本は現状0~5の視点に収まると考えられるため、大枠は維持 ※今後の現地調査の状況次第で
 - ※今後の現地調査の状況次第で 見直しを検討

●視点O

- ・チェック1~4について、「記載しに くい箇所」および「追加・削除した方 がよい項目」は、約8割が「なし」
- ・食文化を技術という要素で捉える 必要性もある



●視点O

- ・項目は現状を維持
- ⇒チェック2の中に、発酵等の「文 化技法」について言及する
- *技術についての表現は要検討

●視点1

- ・チェック5~9について、「記載しに くい箇所」ありが約4割
- 「追加・削除した方がよい項目」は、 約8割が「なし」



●視点1

- ・チェック5(食材の由来)・6(地産 地消)・7(在来品種の活用)の見 直し
 - ⇒記入のヒントの見直し

●視点2

- ・チェック10~12について、「記載し にくい箇所」ありが約3割
- 「追加・削除した方がよい項目」は、 約9割が「なし」



●視点2

- ・項目は現状を維持
- ⇒表現が抽象的(=クリエイティブ デザイン等)という現場の声には、 平易な表現や、イメージしやすい 例の掲載で対応

●視点3

- ・チェック13~16について、「記載し にくい筒所」ありが約4割
- 「追加・削除した方がよい項目」は、 約9割が「なし」



●視点3

- ・項目は現状を維持
- ⇒平易な表現や、イメージしやす い例の掲載で対応
- ※わかりにくいという声には、今後の現地調査からの例示など改訂に向けたヒントを模索

4. ワークシート(P9~P15)について

【調査結果】

●視点4

- ・チェック17~20について、「記載し にくい箇所」ありが約3割
- ※特に「海外」についての記載多数
- 「追加・削除した方がよい項目」は、 約9割が「なし」
- ・チェック18、20のヒントに該当する 事例は、まだ少ない



【改訂の方向性】

●視点4

- ・チェック18、20の再検討
- ⇒海外を意識したチェック項目は 現行どおり2項目にする
- ⇒18、20については、1本化
- ⇒「海外を意識した工夫」として新 たに「インバウンド」への対応を 追加

●視点5

- ・チェック21~26について、「記載し にくい箇所」ありが約2割
- 「追加・削除した方がよい項目」は、 約9割が「なし」



●視点5

- ・基本は現在のまま
- ・「誇り」「絆」「食する側の人づくり」 など抽象的とされた言葉につい ては、平易な表現も検討

●レーダーチャート

- ・「記入しにくい」が半数近くにものぼる
- ・評価基準や評価数値への疑問、意 見がみられる
- レーダーチャートへの記載の意義 がわからないとの声



●レーダーチャート

- ・改善が必要
- ⇒「評価」ではなく、あくまでも「気 づき」のためのツールとする
- ⇒「何が不足しているか」よりも、 あと「何ができるのか」を知るため の意味を再確認